

# 作業療法フェスタ 2012 報告



今年も集結していただきました「作業療法を知ってもらい隊」のみなさん  
今年なんと 44 名もの皆様にお集まりいただきました。ありがとうございました

作業療法障害体験コーナーでは小学生中学生の他、小さい子どもさんもたくさん体験をしていただきました。参加賞は「ワンピースのレターセット」です



介護実習普及センター様 から様々な福祉用具を借用して  
展示も行いました。



今回のフェスタで一番盛況だったのが、小池副会長指導による風船アートでした。  
ブースを訪問くれたみなさんに風船アートをプレゼントしました。

●作業療法フェスタに参加していただいたOTの感想

9月9日日曜日に大和ジャスコ2階催事場にて、作業療法フェスタにスタッフとして初めて参加させていただきました。

今回のフェスタでは高齢者体験や、身体と心を支える作業療法コーナーや生活を支える作業療法コーナー、福祉用具展示、作業活動体験コーナー、リハビリ相談などのイベントを行い、一般の方々が参加や見学をされました。

私は生活を支える作業療法コーナーで自助具（バネつき箸やソックスエイド等）を紹介していきましたが、ほとんどの方たちが始めて触ったり、使用したりと（子供さんの参加が多かったです）多くの興味を持ってもらいました。

参加された方たちには家族の中におじいちゃん、おばあちゃんがいて、今後介護などの不安がある事や、将来どのような病気になるかわからないという不安がある事もわかり、事前に作業療法とはどういうことをしているのかを知っておく事で、少しでも安心して生活が送れるのではないかと感じました。

最後に作業療法フェスタを通して、一般の方には作業療法という職種や仕事の内容はあまり知られていないという事を改めて認識しました。今後もこのような啓蒙活動を通していき、多くの方に作業療法を認知してもらおうと同時に、少しでも生活の中でお役に立てれば、作業療法の必要性も浸透していくと感じました。

（西田病院 事業部員 吉富竜一）

## 佐賀県作業療法士会「OTフェスタ 2012」を終えて

9月9日、今回で2回目となる作業療法啓発活動「OTフェスタ 2012」を完遂できたことを始めにご報告し、ご協力いただきました44名の県士会員の皆様及び成功をお祈りいただきました方々にお礼申し上げます。参加者代表として、今後の啓発活動に対する思いも併せて述べさせていただきます。

昨年に引き続き、心身の回復を支えるOT、生活を支えるOT、福祉用具や作業活動といった実際に“見て触れる”体験のエリアと、進学やリハビリに対する相談エリアなど幅広い年齢層に対応できる体制で挑みました。そんな中、印象に残った家族をご紹介します。

お母さん：「ほら〇〇ちゃん、やっごらん」と5才の娘と来訪。  
女の子：「やだ！これ（麻痺や巧緻性低下した疑似手での作業が）  
できない！」  
お母さん：「難しいね、おばあちゃんもこんな感じなのかもね」  
「今度会ったとき、優しくしてあげようね」  
女の子：徐々に作業を受け入れていく。

この場面の表情や声のトーンも気になるころとは思いますが、私は母が娘のポテンシャルを評価し、外発的から内発的モチベーションへ移行した場面に見え、極短時間のgoal達成が見えたような気がしました。まさにOT啓発の場で、アプローチについて来訪者から学ばせて頂いた出来事でした（もしかしてセラピストだったのか？笑）。

また、「娘がOTになりたいと言っているが、なれますかね？」と相談に見えたお父さん、「母がOTを受けていました」と少しOTをご存知だった娘さん、「体験しに来ました」とフェスタの流れに乗せられた(?)男子高校生、この他にもたくさんの来訪者があり、足を運んでいただいた皆様へ作業療法を“魅せる”ことができたのではと感じております。

最後に、尊敬する先生方の言葉を引用しまして今後の啓発について。まずは所属施設の他職種に作業療法士の「できる」を理解してもらうこと、これが意外と手薄だと聞いたことがあります。院内からそれが地域へと広がり、更に今回のようなフェスタも含めて地域へ会員が外向いていくことで効果的な啓発が生まれると思います。また、売り口上となっている「何でもできるOT」もカッコいい！のですが、個人が何でもできるのではなく、団体として全ての領域のニーズに対応できる、そのような会員間の繋がりがあということが強みになると思います。赤ちゃんからお年寄りまで、十人十色の患者さんを支援されている十人十色の作業療法士がいる佐賀県作業療法士会が更に繋がりを強めていくことが啓発にも必要となります。今後も会員皆様のご協力をお願いいたします。

本フェスタに関わられた全てのみなさんへ、感謝  
事業部副部長  
寺崎 司